

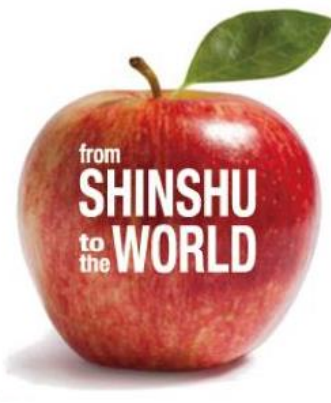
TED^x ShinshuUniversity

x = independently organized TED event

TED とは、「Ideas worth spreading」(広める価値のあるアイデア)というスローガンを基に、世界中で開催されているトークイベントです。これらのトークはインターネットで配信され、一日 150 万回以上再生されています。TEDx は、TED というブランド名を使い世界各地で開催されている独立したイベントの名称です。

TED 本家が発行する TEDx ライセンスを世界中の団体が取得する理由、それは「信頼」です。全員が発信者となり、情報が錯綜する今日、効率的に情報を受信者に届ける事がより難しくなっています。しかし、TED という信頼のあるプラットフォームを経由する事で、より多くの人に確実に情報を伝達出来る様になるのです。

私達が実現したいのは、信州大学という大学地域での TEDx である TEDxShinshuUniversity 開催を通して、信州に眠っている魅力あるアイデアを発掘し、TEDx というプラットフォームを通じ、信州発の「オモシロい！」を全世界に発信していくことです。



~目次~

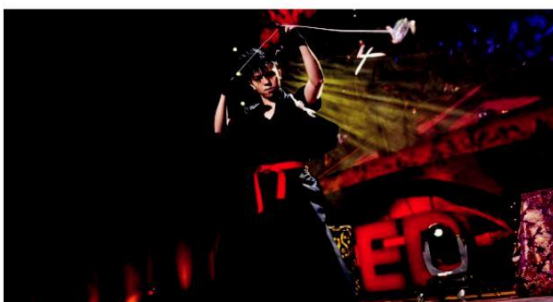
TED, TEDx について	----- 3
TEDxShinshuUniversity	----- 4
背景	
原動力・動機	
なぜ TEDx なのか？	----- 5
影響	
2016 年度方針	----- 6
2016 年度テーマ「奏」	
パートナーについて	----- 7
実行委員会	
組織図	
問い合わせ先	

TED, TEDx について

TED とは、カナダのバンクーバーで年一回、大規模な世界的講演会を主催している非営利団体です。TED が主催している講演会の名称を TED Conference と言い、学術・エンターテインメント・デザインなど様々な分野の人物がプレゼンテーションを行います。講演会は 1984 年に極々身内のサロンの集まりとして始まり、2006 年から講演会の内容をインターネット上に無料で動画配信するようになり、それをきっかけにその名が広く知られるようになりました。

講演者には非常に著名な人物も多く、例えばジェームズ・ワトソン (DNA の二重螺旋構造の共同発見者、ノーベル賞受賞者)、ビル・クリントン (元アメリカ合衆国大統領、政治家)、ジミー・ウェールズ (オンライン百科事典 Wikipedia の共同創設者) といった人物がプレゼンテーションを行っており、最重要事項はアイデアであり一般的には無名な人物も数多く選ばれプレゼンテーションしています。

TEDx とは、TED の精神である「ideas worth spreading」のもとに、TED からライセンスを受け世界各地で発足しているコミュニティ。TED の名称を使用していますが、運営や人選、設営などに TED 本体は関与していません。TEDx は、2009 年に TEDxTokyo が開催された事をきっかけに日本で広まりました。名称中に TED の文字を含むのは TEDx が TED のコンセプトを受け継いだ団体であることを示しています。TEDx のカンファレンスは各地のスピーカーによる講演と TEDTalks のビデオの上映によって構成され、参加者が個々にディスカッションを通してアイデアを共有し、横のつながりを広げていく場でもあります。世界中で TED のコンセプトは広まりつつあり、2012 年 4 月時点で既に 126 カ国以上、800 にも渡る都市で TEDx イベントが実施されています。



TED Ideas worth spreading

TEDx
x = independently organized TED event

(TED.com より引用)

TEDxShinshuUniversity

背景

「信州大学にてTEDxを行う」というアイデアは、2014年に学生有志で発足しました。信州から価値あるアイデアを世界に広めたい、そんな思いから発足したものの、知名度の低さや人数不足等といった要因から、残念ながら実現出来ませんでした。そこで、私達は、スケールは小さいものの、TEDxのようなイベントを信州大学工学部キャンパスで毎週開催し始めました。それが「English Cafe」の活動です。

English Cafe は毎回プレゼンテーションで始まり、その後英語でディスカッションをする時間を設けています。English Cafe が発足して約2年が経ちましたが、参加者は学内に留まらず、他大学からくる方

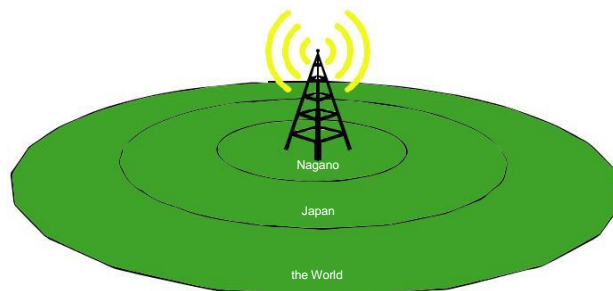
もいれば、地域住民、大学のスタッフ、更には近所の高校生も参加し、現在も増加しています。

English Cafe の成功を経て、2015年3月にライセンスを取得し、私達は再度TEDxShinshuUniversityの実現に向けて動き始めたのです。そして2015年11月6日、スピーカー8人、聴衆100人(TEDx規定により最大限)で第一回イベントを開催することができました。*詳しくはTEDxShinshuUniversity ホームページより昨年度のページへ飛んで確認することができます。

2年目となる2016年度は3月より運営メンバーを他学部キャンパスから募り、上田、松本、長野と広い範囲から集まったメンバーで構成されています。第二回イベント開催を11月13日に予定しております。昨年度は初年度ながら大成功に収めることができましたが、今年度は昨年度よりもさらなるパワーアップを目指して企画運営を取り組んでおります。

原動力・動機

そもそも何故こんな事をしたいのか？私達のテーマは2年前から変わっていません。信州の地域から良いアイデアを発掘して、世界へと広げていきたいのです。運営委員はみんな口をそろえて「信州最高！」と言います。信州には多くの魅力ある才能が眠っていると確信しています。それらを発掘し、世界へ共有する舞台を提供したいという、想いで私たち運営委員は動いています。



何故 TEDx なのか？

情報を発信する、という観点だけで言えば、TEDx で無くても良いのでは、と思われるかもしれませんが、しかし、誰でも発信者となれる時代だからこそ TEDx ライセンスを取得する意味があると思います。その理由を一言で表わすと、「信頼」です。

世の中に出回る情報量が増え続ける今、正しい情報を見分ける事がいっそう困難になっています。誰でも発信者になれるが故、それを確実に受信側に届ける事は至難の技です。

しかし、私達は世界から信頼されている「TED」ブランドが発行する TEDx ライセンスを取得した事で、オモシロいアイデアを発掘して、且つそれを効率的に世界中の人々へ届ける事を可能とする、強力な「情報の販路」を手に入れたのです。



影響

発掘！



上記で述べたように、私達は信州にはまだ発見されていない才能がたくさんあると考えています。しかし、それらは発見されないと意味がありません。TEDxShinshuUniversity ではそういった隠れた才能やアイデアを発掘し、ローカル地域、そして全世界へと発信していきたくと考えています。

宣伝！



どんなに良いアイデアがあっても、それを人々に届ける舞台が無ければそのアイデアが活用される事は無いでしょう。今回私達は、信州発のアイデアと世界中の人々を繋ぐプラットフォームを創造する事により、「信州」というブランドをより多くの人に知ってもらう事が出来ると思っています。

グローバル化！



TEDxShinshuUniversity 実行委員会のメンバーは様々な国から来た人たち(ネパール、中国、マレーシア、アメリカ、日本等)によって構成されています。また、メンバーは信大生に限らず、地域の人や高校生も参加しています。様々な背景や考え方を持つメンバー同士が、「世界へ、面白いアイデアを発信していく」という共通ゴールに向けて日々切磋琢磨しています。このような機会を提供する事は、信州大学及び地域コミュニティの国際化推進にも寄与していくのだと思います。

2016 年度方針

私たちは信州を舞台に眠っている隠れた才能やユニークなアイデアを掘り起こして、そのアイデアを世界へ発信し、共有したいと考えています。また、TEDxShinshuUniversity の場を通して、人と人の出会いから新たなアイデアの創造につなげたいと考えています。そして、それらの想いを、未来へと受け継いでいきます。

1. “ideas worth spreading” の精神のもと、TEDxShinshuUniversity を開催する。
2. “From Shinshu to the World” のもと、信州を舞台とし、信州から世界へと価値のあるアイデアを発信する。
3. 信州を舞台にすることで、世界に“信州”というブランドをより多くの人に知ってもらう。
4. TEDxShinshuUniversity を通じて、信州がより豊かな地域となるように努める。
5. TEDxShinshuUniversity は新たな世界観の提供を行う。
6. TEDxShinshuUniversity は人と人の出会う場を提供し、新たなアイデアの創造を促す。
7. “人と人”、“信州と世界”、“現在と未来”をつなぐ、架け橋のような存在となる。

2016 年度テーマ「奏」



今年度の「TEDxShinshuUniversity」のテーマは「奏」~From Shinshu to the World~です。

「奏」という漢字には、「音を奏でる」「功を奏す」というように、音楽をかなでる、成し遂げる、という意味があります。私達は、「音」と「アイデア」のイメージを重ね、様々な「音」が重なり合い、広く世界に響き渡っていく事、そして、今年度の TEDxShinshuUniversity の成功を願い、このテーマとしました。スピーカーの皆さんの「音」と、会場にいる方々の「音」が重なり合い、一つのオーケストラのように信州から「アイデア」のハーモニーを世界に響かせていきたいと思えます。

パートナーについて

TEDx イベントは非営利目的かつボランティアによって運営されないといけません。パートナーを募り、協賛していただいて、初めてイベントを開催することができます。パートナーの種類は4種類あります。

- 1 プライムパートナー … 1口 10万円 (3口限定)
- 2 コアパートナー … 1口 5万円 (4口限定)
- 3 インカインドパートナー … サービス提供

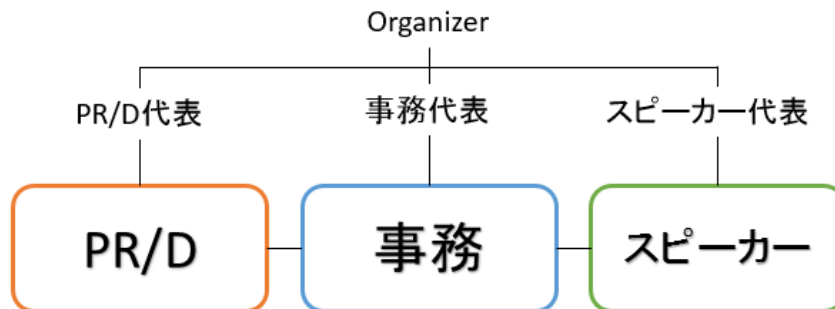
それぞれ、パートナー規約に沿ってイベント当日、TEDxTalkにてロゴ表示等の宣伝を行うことができます。

	プライムパートナー	コアパートナー	インカインドパートナー
動画の開始時にロゴ表示	ロゴ(大)表示	ロゴ(小)表示	ロゴ(小)表示
パンフレットに記載	ロゴ、紹介、写真:大	ロゴ、紹介:小	ロゴ、紹介:小
WEBサイトに掲載	ロゴ、紹介、写真:大	ロゴ、紹介:小	ロゴ、紹介:小
招待チケット配布	2枚	1枚	1枚
懇親会にて紹介	○	○	○
イベント受付時にチラシ配布	○	○	○
懇親会にてブース出展	○		○

実行委員会

組織図

実行委員会は3つのチームに別れていて、PR/Dチーム（パートナー・広報・デザイン）、スピーカーチーム、事務チームで構成されています。各チームは横断的に助け合いながら活動しています。毎月2回第二、第四土曜日に全体会議があり、毎週ごとにそれぞれのチーム会議が行われています。各チーム代表は、毎週各チームに与えられる課題に対して成果を上げる責任があり、チーム内のマネジメントにおいても全責任を負っています。



問い合わせ先

TEDxShinshuUniversity 運営委員会

メールアドレス：tedxshinshuuniversity@gmail.com

ホームページ：tedxshinshuuniversity.com